

来週はいよいよ期末考査！

二島中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。6月16日（月）から18日（水）の3日間で、1学期の期末考査が行われます。今週は試験前1週間なので、部活動は活動休止です。また、各学年では学習計画表を使って、効果的に試験勉強ができるようになっていていると思います。

試験に向けてしっかりと準備をして、日々努力することで、学力はきっと向上します。けれども、準備が足りなかったり、勉強をおろそかにしていると、満足のいく結果にならないかもしれません。1年生の皆さんは初めての定期考査となります。中学校の試験の雰囲気にも早く慣れて、実力を十分に発揮してください。2年生は将来を考えるきっかけとして、そして3年生は進路の選択に向けて、できるかぎりの努力をしてください。未来のために、がんばれ二島中学生！

○ 教科の提出物は完璧に出すことが基本

各教科の先生方からも聞いていると思いますが、ノートやワーク、レポートなどの提出物は完璧に出すことが基本です。学期末に向けて、先生方は皆さんの勉強の成果を評価するのですが、成績はテストの点数だけで決まるものではありません。もちろん、テストも大切な資料となりますが、その他にも授業中や提出物などの様子も加えて、総合的に判断していきます。

私は、担任をしたり、授業をしていた時はいつも、「提出物は出して当たり前」と言ってきました。教科には得意、不得意があるし、1回のテストですべてを評価できるとは限りませんが、ワークなどの提出物の場合は、時間をかけて努力をすれば、ある程度の成果は必ず出せると思います。そして期限までに間に合わせるという作業は、社会に出た時にとっても大切なスキルになるのです。たとえ期限を過ぎたとしても、あきらめない気持ちで完成させ、次につなげていきましょう。

○ ペイジ先生の”ENGLISH BOARD”をチェックしよう

A L Tのペイジ先生が作っている“ENGLISH BOARD”を皆さんはチェックしましたか。児島は英語の教師でもあるので、毎回、楽しみにしています。場所はB棟校舎の階段、3階から4階へ行く途中にあるので、1年生の皆さんはもちろん、2、3年生も理科室や音楽室へ行く時に、ぜひ見て欲しいと思っています。

先週の「やばい」と「それな」の内容もとても楽しかったですが、今回はアメリカで若い人達が使う言葉について紹介しています。

その1つが“Fire”（ファイヤー）、もちろん意味は「火」「炎」ですが、若い人達の間では、「最高！」「カッコいい」「素晴らしい」などの意味で使われているそうです。また“Mid”（ミッド）は「真ん中」とか「中くらい」という意味ですが、「普通、まあまあ、期待はずれ」という意味で使われるそうです。次回、ペイジ先生は6月末に来られますので、その時までにはしっかりと見ていてくださいね。

